

【校訓】 雨 洗 風 磨

雨が降る、風が吹くごとく、さりげない日々の営みの中で厳しく心を洗い、能力や技能を磨こう

【学校教育目標】

創意に富む たくましく 心豊かな南中生徒の育成

目 指 す 生 徒 像

「底力」のある南中生

南中生が大人数の中での磨き合いによって身に付けていく「こそぞ」の場面で発揮される強い力
未来をたくましく生き抜く力

育てるための三つの柱

「自ら学びを拓く」南中生の育成

- ・学習の課題や解決方法を自ら選択・判断し、主体的に学びに向かおうとする生徒
- ・他と協働して、よりよい解を求め、自分の考えを深めていくことのできる生徒
- ・学んだことの価値やよさを、よりよい自分や社会のために生かそうとする生徒

「端正」な南中生の育成

- ・自分の目標に向かって、困難にもくじけず、ひたむきに取り組む生徒
- ・場に応じた爽やかなあいさつや返事ができる礼節のある生徒
- ・きまりやルールを守り、しっかりした日常生活ができる生徒

「心あったか」な南中生の育成

- ・自他の命の尊さやその多様性を大切にし、思いやりにあふれる生徒
- ・いじめを許さず、仲間との絆を大切に共に進もうとする生徒
- ・ふるさとを愛し、地域や他のために行動し、貢献しようとする生徒

今年度の重点 「生徒主体」への思い切った転換

1 「自ら学びを拓く南中生の育成」を図る取組の充実と個に応じた支援

- ①「自ら学ぶ授業」の充実
「鍛える場面」「自ら学ぶ場面」をバランスよく取り入れ、「自ら学ぶ場面」を充実させる単元づくり
- ②学習内容や方法を一人一人の生徒が適切に選択・判断していく力の育成
適切な選択・判断の重要性を生徒に強く意識させていく取組の充実
- ③自分の歩もうとする道をしぶとく前進する力の定着
自分の変化や成長を実感する経験を獲得していくことへの支援

2 「端正な南中生の育成」を図る集団づくりの推進

- ①生徒主体の学校生活の実現
「学校行事」「生徒会活動」等を中心にした生徒主体の活動の推進
「その気にさせる」「できるだけ任せる」「自分たちの活動だと自覚させる」等、様々な形で生徒主体の具現化
- ②きめ細かな「生徒理解」による学級経営
自尊感情や自己有用感を高める心の居場所の形成
- ③生徒の「自主性」と「自律性」を育む基本的な生活習慣の確立
きまりやルールの重要性を理解し、しっかりと日常生活を送る生徒の育成

3 「心あったかな南中生の育成」を図る心の教育の充実

- ①全ての教育活動を通した道徳性の育成
自己を見つめ、自己の生き方について考えを深める「特別の教科 道徳」の充実
- ②いじめ、不登校等の未然防止と組織の力を生かした対応の充実
互いの個性を理解し合い、相互に活躍し合える場と機会の設定
- ③地域や人とつながるよさを実感させる諸活動の充実
学校外へ出かけての学習や体験活動の計画的実施

横手南中学校区 研究主題

生き生きと学び 自らを高めていく児童生徒の育成
～「自ら学びを拓く生徒」の育成を目指して

横手南中学校区で育てたい児童生徒の姿

課題をもち、解決や向上のためのふさわしい道筋を見付けながら、自らを高めようとする児童生徒

育てたい資質・能力

進んで学ぶ力

学びを創る力

学びを確かめ生かす力

重点Ⅰ 生き生きと学ぶために

- 単元デザインの工夫
 - 生徒の問いを引き出す工夫
 - 振り返りの位置付け

重点Ⅱ 学びを高めていくために

- 学びを高めていくための場づくり
 - 多様な学びを支える手立ての充実（ICT・学校図書館・NIE含む）
 - 個別最適な学びと協働的な学びの一体化

横手南中学校が目指す「自ら学びを拓く生徒」

- 新たな疑問に出会ったとき、主体的に考え、解決しようとする生徒
- 他と協働したり、他の生徒の取組を参考に修正・改善したりしながら自分の考えを深めていく生徒
- 学んだことの価値やよさを評価・実感するとともに、学んだことをよりよい自分になるために生かしたり、社会のために役立てたりしようとする生徒

今年度の研究の重点

Ⅰ 生徒が学びの主役となる単元づくり

- 生徒自身が選択する場面、自分で考えて決定する場面の設定
- 生徒が主体的な学びを遂行するための教師としての支援のあり方の工夫
- 目的に即した学校図書館、ICTの有効活用

Ⅱ 生徒が自分の学習状況を的確に把握し、修正・改善していく力の育成

- 自身の学習課題や追究方法、考察、表現、動き、作品等が妥当なものであるのか、他との比較などを通して客観的に判断する力の育成。
- より質の高い学びになるように、随時、生徒自身が自己省察しながら改善につなげようとする意識の醸成

Ⅲ 自分の意図や考えを分かりやすく伝えるコミュニケーション能力と表現力の育成

- 互いの考察や表現などに対して、素直に意見を述べたり評価したりできる集団の育成
- 自分の意図すること、考えを説得力のある論や的確な言葉・表現で伝える力の育成